

もうすぐ小学1年生

要上小學1年級了



＜新入学説明会 次第＞

司会：宮永教頭

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 校長挨拶 | (重山校長) |
| 2. もうすぐ小学1年生 | (野々村・小原) |
| 3. 入学金等の学校納付金について | (高橋事務長) |
| 4. P T A活動について | (大塚P T A会長) |
| 5. 終わりの挨拶 | (宮永教頭) |
| ◎スクールバス説明会 | (緒方バス委員長) |

平成30年2月2日(金)

台北日本人学校(台北市日僑學校)

入 学 に 際 し て

本日は新入学説明会及び体験入学にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本校は、1947年(昭和22年)5月に開校され、数多くの卒業生を輩出している歴史と伝統のある学校です。現在、3年後の新校舎落成に向けて、準備を進めています。

学校では教育目標を「自ら考える力と思いやりの心を育み、心身ともにたくましい児童生徒を育成する」としています。また、めざす児童生徒像を『自ら考え、課題解決できる児童生徒』『感性豊かな心をもつ児童生徒』『たくましく未来を切り開く元気な児童生徒』と捉え、全教職員で子どもたちの無限の可能性を考えながら日々教育活動に取り組んでいます。

子どもたちは、元気で明るく、素直で、皆仲よく学校生活を送っています。私たち教職員といえども、そのような子どもたちに対して、以下の点を重点目標に掲げながら教育に当たっています。

1. 全教職員の総力によって、本校の特性を生かしながら、一人一人の子どもたちのよさや可能性を見出し、伸張させていく。
2. 在外にある教育施設であることから、子どもたちの生命を守ること、安全確保を第一に心がけて教育活動を展開する。
3. タブレット等のICT活用の充実や豊かなコミュニケーション能力の育成を通して、個々の子どもたちの思考力・表現力・判断力を高めるとともに、更なる学力を身に付けるようにする。
4. 花と歌と絵のある学校にする。学校はコンサートホール、美術館、博物館等でもあると捉え、子どもたちの学習意欲を喚起する場にしていく。

平成30年度も、子どもたちの学びの場として、キーワードに『明るい笑顔と元気なあいさつ』『豊かなコミュニケーション』を掲げ、近い将来、国際人として活躍できる人材を育成し、世界に羽ばたいて欲しいと願うとともに、子どもたちのもつ素晴らしい資質や能力を引き出し、磨きをかけてよりよい方向へ伸ばしていきたいと思っています。

それでは、入学式当日、新入生に出会えることを楽しみに、教職員一同、心からお待ち申し上げます。

平成30年2月2日

台北日本人学校

校長 重山 史朗

1 本校の概要

(1) 沿革

台北日本人学校は、中華民国・台北市内の北北東・天母地区にあり、その設立は昭和22年の温州街における「国立台湾大学附設台日籍人員教育班」開校に遡り、歴史と伝統のある学校である。開校後、国立台湾大学校内、厦門街、敦化南路、松山と移転と変遷を重ね、昭和58年10月に現在地に校舎が完成した。昭和47年に日本との国交が停止されたため、大使館附属のかたちから台北市政府教育局より「私立台北市日僑学校」の名称で認可を受けた日僑協会（台湾日本人会）設立の「台北日本人学校」となり、現在に至っている。

(2) 本校の教育

教育目標

「自ら考える力と思いやりの心を育み、
心身ともにたくましい児童生徒を育成する」

経営方針

- ① 明るく楽しい学校づくり
- ② 豊かな学びづくり
- ③ 思いやりの心づくり
- ④ 安心・安全な学校づくり
- ⑤ 身体の健康づくり



本校のキャラクター「クル」

目指す児童生徒像

- 自ら考え、課題解決できる児童生徒
- 感性豊かな心をもつ児童生徒
- たくましく未来を切り開く元気な児童生徒

(3) 職員構成（平成29年度 校長：重山 史朗、教頭：宮永 健次、事務長：高橋 慶次）

文部科学省から派遣された校長・教頭が学校運営委員会からの委任を受けて学校経営を行い、文部科学省派遣教員27名と現地採用教員29名の計56名が授業を担当している。他に事務長1名と学校秘書兼地域貢献担当コーディネイター1名、事務3名、用務3名がおり、清掃及び警備の外部委託職員5名をあわせ、総計69名の人員で学校運営に当たっている。

(4) 児童生徒数（平成30年1月現在の状況）

昭和22年の開校は小学部50名、中学部40名の計90名でスタートし、昭和23年～27年と34年～42年の2回に渡って中学部が廃止と閉校となったが、昭和43年には100名を超え、昭和54年に初めて500名を突破した。その後漸増を続け、平成元年の1190名をピークに漸減が続き、今年度は12月現在750名（小学部563名：1・2・3年4学級、4・5・6年3学級の計21学級、中学部187名：1年3学級、2・3年2学級の計7学級）となっている。

学年	小1年	2年	3年	4年	5年	6年	小学部計	中1年	2年	3年	中学部計	総計
男	50	46	54	48	46	40	284	38	23	24	83	367
女	49	56	48	45	48	33	279	44	38	22	104	383

2 学校生活の紹介

(1) 学校での一日

	6校時授業の日	5校時授業の日	特別校時授業の日
小学部1年	金	月、火、水、木	
小学部2年	月、火、金	水、木	
小学部3年	月、火、水、金	木	
小学部4・5・6年	月、火、水、木、金		
朝読書(朝自習)	8:05 ~ 8:15	8:05 ~ 8:15	
朝の会・健康観察	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25	8:05 ~ 8:15
授業準備			
第1校時	8:30 ~ 9:15	8:30 ~ 9:15	8:20 ~ 9:05
休み時間			
第2校時	9:30 ~ 10:15	9:30 ~ 10:15	9:15 ~ 10:00
休み時間			
第3校時	10:30 ~ 11:15	10:30 ~ 11:15	10:10 ~ 10:55
休み時間			
第4校時	11:30 ~ 12:15	11:30 ~ 12:15	11:05 ~ 11:50
昼食	12:15 ~ 12:45	12:15 ~ 12:45	11:50 ~ 12:15
昼休み	12:45 ~ 13:05	12:45 ~ 13:05	12:15 ~ 12:30
清掃(木曜なし)	13:10 ~ 13:25	13:10 ~ 13:25	
授業準備	木曜日の昼休みは13:25まで		
第5校時	13:30 ~ 14:15	13:30 ~ 14:15	12:35 ~ 13:20
休み時間			
第6校時	14:30 ~ 15:15		13:30 ~ 14:15
終いの会	15:20 ~ 15:35	14:20 ~ 14:35	14:20 ~ 14:35
下校時刻	15:35	14:35	14:35
バス乗車前集合	15:45		14:45
バス発車	15:55		14:55

(平成29年度)

(2) 第1学年の主な学習内容について

国語：聞くこと 話すこと 読むこと 書くこと
算数：数や量のしくみ 計算 数学的な考え方
生活：身近な自然や人などと自分との関わり
音楽：音楽的な表現（歌・器楽演奏）鑑賞
図工：身近な材料を使つての表現（描く・作るなど）
体育：体づくりの運動 身体表現
中国語：読み・書きを通して中国語会話に親しみ、生活の中で生かす
英会話：活動を通して英会話に親しみ、生活の中で生かす
道徳：基本的な生活習慣や集団生活における社会性や善悪の判断など
特別活動：学校行事（ミュージックフェスティバル、遠足、スポーツフェスティバル、現地校との交流会など）
学級活動（学級内での話し合い活動、係活動、集会活動）



3 入学前の準備

生活の基本は、お子様ができるだけ身のまわりのことを自分でできるようになることです。それが、学校での集団の一員としての学習や行動につながります。けれども、あせらず、楽しく学校生活が送れるよう、以下のことができるよう保護者の方の支援をお願いします。

(1) 生活面の準備【お子さんへ】

- 1 自分からあいさつをしましょう。
- 2 名前を呼ばれたら「はい」と元気よく返事をしましょう。
- 3 自分の名前をはっきり言いましょう。
- 4 自分の名前をひらがなで読んだり、書いたりしましょう。
- 5 必要なことや困ったことをはっきり言いましょう。
- 6 人の話を落ち着いて聞きましょう。
- 7 服や靴下を自分で脱いだり、着たり、たためたりするようにしましょう。
- 8 20分くらいで食事をすませましょう。
- 9 トイレでは、排便の始末が自分でできるようにしましょう。
- 10 自分の物を準備したり片付けたりできるようにしましょう。

〔保護者の方へのお願い〕

- 11 登校時間に遅れぬよう、規則正しい生活のリズムをつくってください。
- 12 毎朝の歯磨きや汚れた時の手洗いの習慣を身につけさせてください。
- 13 午後9時までには就寝し、十分な睡眠時間をとらせてください。
- 14 遅刻、忘れ物をしないように確認をしてください。
- 15 指先を使う経験、体を動かす経験、友達と遊ぶ経験をさせてください。
- 16 日本語の環境を整えてください。

(2) 持ち物の準備

- 通学かばん・・・指定は特になし。両手があく背負うタイプのもの。
- 上ばき・・・・・・運動靴。ひもがなくて、履きやすいもの。体育館シューズとしても使用。
- 上ばきぶくろ・・・上ばきの持ち帰りに使用。

- ふでばこ・・・・・・構造が簡単で、落としても壊れにくいもの。
 - ◆えんぴつ・・・・濃さは、2B（芯のやわらかいもの）を5本、赤鉛筆を1本。（赤鉛筆は事務室でも取り扱っています。）
 - ◆消しゴム・・・・よく消えるもの、使いやすいかたち。
 - ◆名前ペン・・・・黒の油性の細いマジックペンを1本。
 - ◆定規・・・・・・折り曲げ式ではないもの。
- 下じき・・・・・・なるべく無地のもの。

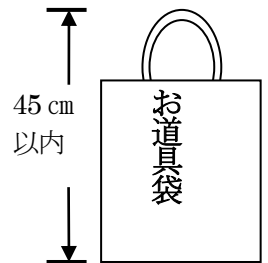
- お道具袋・・・・・・お道具箱の代わりに使用。巾着や小さめのかばんでも可。
 - 机の横にかけておくので、長すぎないようにご注意ください。
 - ◆パス・・・・・・クレヨンには色が薄いので、パスをお勧めします。新規購入をお考えの方は、パスをお願いします。※サクラクレパスは、商品名ですので、パスで表記させていただきます。
 - ◆色鉛筆・・・・・・12色程度のもの。（クーピー、フリクション色鉛筆は不可。）
 - ◆のり・・・・・・水のり（蓋はとっておく）が使いやすい。
 - ◆はさみ・・・・・・先のとがっていない15センチくらいのもので。（左利きの児童は左利き用のもの。）
 - ◆セロテープ・・・カッター付きのもの。

- そうきん・・・・・・前期に2枚、後期に2枚ほど。
- 絵本バック・・・・・・丈夫な布地で作られたもので、大きめの絵本も入るもの。
- 移動バック・・・・・・音楽・英語活動・中国語などの教室への移動の際に使用。教科書やふでばこ、上ばきなどをまとめて入れられる手さげバッグ。

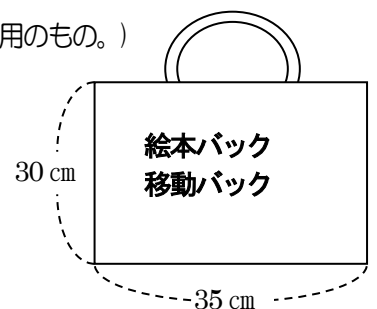
- 体操ぶくろ・・・・・・体操服などを入れておく袋。
 - ◆体操服・・・・・・白いシャツ(多少の柄があっても可)と短パン(黒・紺・白)、指定はない。
 - ◆赤白帽子・・・・・・一般的なもの。

- プールバック(ビーチサンダル、バスタオル)・・・6月頃より使用。
 - ◆水着、水泳帽子・・・自由。脱ぎ着しやすく、水泳学習に適したもの。※ゴーグルは自由

- 鍵盤ハーモニカ・・・・32鍵、37鍵のもの。5月頃より使用。
 - ※学校では、希望者に注文(37鍵)をとる予定です。
- 絵の具セット・・・・・・9月頃より使用。日本製のセットになっているものが最適。
 - (水入れ、太筆、細筆、パレット、スポンジ、絵の具がまとめてあるもの)
- 弁当の用意・・・・・・弁当箱、はし、水筒、ランチョンマットなど(弁当包み)
 - ※業者弁当を注文することもできますが、昼食に慣れるまではお控え下さい。 (4月中)



↑ 大きさの目安 ↓



(3) 教材費として学校で一括購入するもの（入学後配付）

ノート類（国語，算数，連絡帳，自由帳，漢字練習）	粘土・粘土ケース
連絡ぶくろ	生活科 かんさつバッグ
計算ブロック	フェルトペン
計算カード	ファイル類

○他にも、ワーク・ドリル類やテスト、生活科や図工科などの材料や教材など学習に必要な物は、一括で購入していきます。

○粘土板については、個人負担ではなく、公費で購入し、共有で使用しています。

○ノートについては、国語，算数，連絡帳，自由帳を入学式の日配付します。（漢字練習ノートは後期）

2冊目からは、各ご家庭でご用意ください。ノートは、事務室でも購入できます。

☆すべての持ち物に名前を書いて下さい

持ち物の記名は、学校生活では、とても大事なことです。油性ペンなどで大きく、見えやすい場所に書いてください（ひらがなで）。鉛筆や消しゴム，上着，下着，靴下等すべてに必要です。新しいものを買って使うときも同様をお願いします。

4. その他のお知らせ

(1) 入学式について

平成30年4月14日(土)

- ・詳細は、本日配付しました別紙資料をご覧ください。
- ・入学後の諸注意，4月の行事予定などは、入学式当日配付のプリントでお知らせします。
- ・入学式当日，欠席する場合は、前日までに学校に電話で連絡をお願いします。（緊急の場合でも，当日，必ず開始前までにして下さい。）
- ・担任に知らせておきたいことがありましたら，お申し出ください。



(2) 欠席の連絡について

- ・学校を休ませる場合は、必ず朝7時50分までに電話やFAXで担任にその理由を連絡してください。

(3) 登下校について

- ・登下校については、校門までの送り，中央玄関までのお迎えをお願いします。下校時刻以降、お子さんの安全管理は、保護者の責任となります。さらに、校内に入る際には、必ず保護者証をつけ、警備員に提示してください。
- ・スクールバス利用者は、登校時バスに乗せるまで、また下校バスを降りたところまで送り迎えをお願いします。毎日、行事予定表を確認して、児童にバスの利用について知らせてください。



5. 保健面

(1) 学校伝染病と出席停止

- ・ 学校で特に予防しないと集団発生の恐れのある伝染病を学校伝染病といい、欠席にはならず、出席停止となります。医師の許可を得てから登校させてください。(詳しくは、入学後お渡しする「保健のしおり」をご覧ください。)

(2) 学校でのけがや病気

- ・ けが・・・軽いものは保健室で応急処置をします。医療機関で診察を受ける必要がある場合はすぐに保護者の方に連絡します。
- ・ 病気・・・少し休養すればよくなりそうな場合は保健室で休ませますが、熱が高いときや、症状が重い場合、保護者の方に連絡し、速やかに迎えに来ていただきます。

※ 常に連絡がつくように携帯電話を所持するなどお気を付けください。

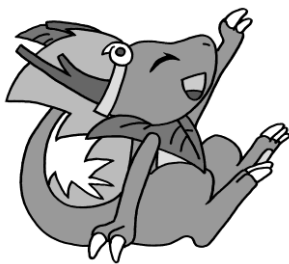
※ 放課後のけが、病気については、担当在校の場合は学校で応急手当はできますが、病院での治療、診察を必要とする場合は、保護者の方でお願いします。

(3) 毎朝の健康観察

- ①顔色はよいか？
- ②元気はあるか？
- ③食欲はあるか？
- ④熱はないか？

登校後すぐに体の不調を伝えに来る子どもがいます。熱が少し高い時は、念のため休ませてください。また体育等を見学する時は、必ず連絡帳にてお知らせください。

入学当初は、心身共に疲れますので、帰宅後も健康観察を十分に行って下さい。
異常がある場合は、無理に登校させないでください。



電 話 2872-3801

FAX 2873-6744

(代 表 内線102 16:45まで事務室中国語可)
(低学年直通 内線110 16:45まで中国語可)

6. 日本語補習に関して

1. 今年度の日本語補習について

1) 日本語補習の必要性…日本語能力が充分でない場合

国際家庭のお子様や、これまで現地の幼稚園や小学校に通い、日本語を習得する機会や場面が少なく、日本語を話したり聞いたりする能力の習得を図る必要性のあるお子様を対象に、日本語補習を実施しています。

2) 日本語補習の実施時間

水曜日の6校時 14:40～15:15 ※平成29年度はこの時間帯で実施。

3) 日本語補習対象児童の決定

- ①担任及び日本語補習担当教員が子どもを観察し、日本語補習が必要と判断し、保護者の承認が得られた場合。
- ②保護者が日本語補習を強く希望し、担任及び日本語補習担当教員が必要性を認めた場合。

2. 保護者の方へお願い

学校はお子様のよりよい成長を願い、可能な範囲で最大限の努力を行っています。しかし、日本語補習にも限界があります。例えば、1年生の時に日本語補習を終了しても、その後の努力を怠れば、学習についていけなくなることがあります。会話はできても、文を書かせてみると正しく書けないといったこともよくあります。

日本語の習得には、保護者の方々の協力が不可欠です。下記を参考にお子様の健やかな成長を願って、学校と一緒に努力してくださることを切に願っています。

＜日本語の環境を整えて下さい。＞

- ①親子の会話は、可能な限り日本語にすること。
- ②毎日日本語のお話または、絵本の読み聞かせをすること。



本校では、平成29年度より海外日本人学校における日本語教育プログラムの開発をねらいとする文部科学省の

「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」

を実施しております。それに伴い、対象となるお子様に(昼休みなどの時間を利用して)語彙力チェックテストを受けていただく場合がございます。日本語補習申込者を対象として4月に承諾書を配布いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

7. 赤白帽子ご購入について

体操服は、持ち物の準備で記した通り、原則として白いシャツ(少し柄が入っていても可)と短パン(黒・紺・白)と赤白帽子をご用意下さい。

なお、新規にご購入される際には、下記の方法で赤白帽子をご購入していただくことも可能です。
本日のみ、技術室(本校1F)にて16:30まで販売しております。(体育館を出て1つ目の大きな教室です。)

赤白帽 L・XLサイズ85元
